



夢に向かってはばたけ！

学校長 熊谷 満

介護福祉学科 12 名、保育学科 40 名の皆さん、卒業おめでとうございます。また、学生の皆さんを支え続けてこられたご家族をはじめ、関係者の皆様に心よりお祝いを申し上げます。

卒業にあたり、皆さんに一つ心に留めておいていただきたい言葉があります。

「福祉とは、人の命と人生を預かる仕事である。だからこそ、まず自分を大切に、次に家族を大切に、そのうえで利用者に向き合うべきである。」

これは、福祉の専門職として歩み続けるための、いわば“原則”ともいえる考え方です。自分自身が健康で安定した状態であれば、誰かの不安を受け止めることも、寄り添い続けることもできません。また、家族とのつながりや生活の基盤がしっかりしているからこそ、日々の支援に心を尽くすことができます。どうか、自分の暮らしと心の余裕を守ることを大切にしてください。

皆さんのご活躍を心から期待しています。(令和7年度卒業式式辞から抜粋)



卒業記念音楽会



2月21日、卒業記念音楽会を開催しました。今年のテーマは、「蘭」～ここに届けるありがとうの花束～です。地域の皆さまや日頃お世話になっている方々への感謝の気持ちを込めてこれまでの学習や練習の成果を発表しました。

学生のコメント

卒業記念音楽会へ足をお運び頂き、ありがとうございました。歌声委員長として、うまくいかず悩んだこともありましたが、委員やクラスの仲間が支えてくれたからこそ、最後までやりきることができました。毎日の練習や本番の景色は私にとってかけがえのない宝物になりました。たくさん協力してくれた仲間、先生方、そして見守ってくれた家族に、心からありがとうを伝えたいです。

(歌声委員長 保育学科2年 白田 京花)



介護福祉学科

保育学科2年生



祝 長野県介護福祉士会会長表彰

この度はこのような表彰をいただき、大変光栄に思います。私たちは日々の学びや4回の実習を通して、介護福祉士としての在り方を学んできました。実習では担当利用者を受け持たせていただき、その方にとってどのような支援が最もよいのか、正解は1つではない中で試行錯誤しながら関わることができました。同じ福祉の道を志す31期生12名と共に学べたことは、私にとって大きな宝です。支えてくださった先生方や関係者の皆様へ感謝し、今後も努力していきたいと思えます。(村上 明)



祝 内定・進学率 100%

介護福祉学科12名、保育学科40名の今年度卒業生全員が就職内定、進学先に合格しました。

令和7年度卒業生進路 (令和8年3月4日現在)

	介護福祉学科	保育学科
公立保育所	2	14
私立保育所	1	6
幼稚園・認定こども園	1	5
上記以外の社会福祉施設等	8	
本校介護福祉学科へ進学		14
その他		1
計	12	40

祝 全国保育士養成協議会会長表彰

保育士養成課程を優秀な成績で修了し、卒業後に保育者として勤務することが見込まれる者に授与されるこの表彰を保育学科2年生の小林彩華さんが受けました。

この度は会長表彰をいただき、大変うれしく思います。福祉大での2年間は充実しており、あっという間でした。実践的な学びを通して、保育士としての姿勢や言葉がけなど多くのことを学び、自分自身も大きく成長することができました。辛いこともありましたが、同じ夢に向かって頑張る31期生の仲間を支えられ、ここまで歩んでくることができました。4月からは福祉大での経験を糧に、笑顔で頑張ります。ありがとうございました。(小林 彩華)



祝 「国家試験に挑んで」 合格率 100%

国家資格である「介護福祉士」になるために令和8年1月25日(日)クラス全員で受験し、今年度も全員合格することができました！介護福祉士は、介護分野で唯一の国家資格です。



学生のコメント

介護福祉学科の学びの集大成である国家試験を受験しました。本番までの1か月間は毎日ひたすら過去問、模擬問題を解き続けました。勉強は思っていたよりも大変で、思うような結果が出ず、合格できるか不安を感じることもありました。しかし、12人で励ましあい、先生方のかも借りながら全員で乗り越えることができました。大切な仲間と本気で取り組んだ時間を忘れずに社会人として頑張りたいです。(興水 咲希)



祝 白樺賞

白樺賞は、学生の研究推進を支援するために、21世紀の教育、福祉に貢献するヒューマニティに満ちた卒業論文を書いた学生に本校同窓会から授与されます。介護福祉学科の日下部杏佳さん、保育学科の宮澤環希さんが受賞しました。

学生のコメント

介護福祉学科に進学してからの1年間、私は利用者の方の背景や思いに目を向ける関わりを大切にしてきました。今回、短歌や俳句づくりの活動を通して、言葉が家族と利用者をつなぐ瞬間に立ち会い、心に働きかける支援の大切さを学びました。この経験を胸に、これから一人ひとりの背景や思いに心を寄せながら、その人らしい生活を支えられる存在でありたいと思います。担当利用者の方をはじめ施設の職員の方々、先生方から支えをいただき、白樺賞を受賞することができました。ありがとうございました。(日下部 杏佳)



学生のコメント

私は、1年生の時の実習を通して感じたことを元に、卒業論文のテーマを設定しました。研究を進めていく中で最初の仮説とは違う結果が出たり、発表するにあたり時間が収まらなかつたり様々な課題に直面しました。ですが、31期生の仲間が努力している姿や担当の先生の助言に支えられて今回このような賞がいただけたと感じます。来年からは介護福祉学科に進みますが、今回の研究で得た学びを糧にさらに福祉の知識を深めたいと思います。(宮澤 環希)

祝 校長賞

校長賞は、卒業生のうち、学業成績、授業への取組状況並びに卒業研究論文等の内容が優秀な者に授与されます。介護福祉学科の荻原綺女さん、保育学科の山田瑛羽さんと進藤菜月さんが受賞しました。

学生のコメント

今回、校長賞をいただくことができとても嬉しく思います。福祉大学で学んだ3年間はとても充実していました。苦しい瞬間もありましたが、仲間や先生方の存在に助けられ、挫けずに学び続けることができました。介護福祉学科での1年間は、実習や授業を通してより深く福祉について学ぶことができたと感じています。

4月からは、保育士として地元で就職します。介護福祉学科での学びも活かしながら信頼される保育士を目指して頑張ります！(荻原 綺女)



学生のコメント

この度は校長賞をいただき、本当に嬉しく思います。文化祭の係長やミュージカルの舞台監督など学校生活の中では大変なことたくさんありましたが、さまざまな経験が自分自身を大きく成長させてくれたと感じています。振り返ってみると、その一つ一つが今では大切に思い出です！

支えてくださった先生方や仲間、家族への感謝の気持ちを忘れず、これからもさまざまなことに挑戦しながら、さらに成長していきたいと思えます。これからは笑顔で頑張ります！(山田 瑛羽)



学生のコメント

校長賞を受賞でき、大変うれしく、光栄に思います。卒業論文では、保育の現場で日常的に活用され、何気なく目にしていた「園だより」をテーマとしました。その意義や役割について改めて深く考えた経験は、自分自身の学びを大きく広げてくれました。

今回の受賞は、研究を進める中でいただいた多くの助言や支えがあってこそその結果だと感じています。この経験を今後の学びや実践に生かしていきたいです。(進藤 菜月)





保育学科1年生



保育実習

保育実習は、これまで学校で学んできた保育士の業務内容を、実際の現場で子ども、利用者、職員と関わりながら具体的に理解するためにを行っています。保育所とその他児童福祉施設又は社会福祉施設との2か所にそれぞれ2週間ずつ実習に行ってきました。

学生のコメント

今回の実習では、子ども一人ひとりの姿を丁寧に見ることの大切さを学びました。遊びの場面では、友達と関わりながら協力したり、自分の思いを伝えたりする姿が多く見られ、子ども同士の関わりの中で成長していくことを実感しました。また、保育者が子どもの気持ちを受け止めながら、その子に合った声かけや援助を行っている姿が印象に残りました。実習で得た学びを今後の学習に活かし、子どもに寄り添える保育者を目指してまいります。(若井 桜子)



学生のコメント

1年間を振り返って

入学してから1年間はあっという間で、振り返ってみるとたくさんの笑顔と学びであふれていたと思います。講義では子どもの発達や心理などの保育の基礎を学び、実習では施設と保育園に行き、多くの気づきと学びを得ることができました。文化祭では仲間と準備の段階が楽しみなが協力し、当日もみんなの笑顔があふれる中、楽しく取り組むことができました。大変な1年でしたが、たくさんの経験を糧に来年も学校生活を楽しみながら頑張っていきたいです。(由井 亜実)



学生のコメント

いぶき寮

今年いぶき寮では、11月に寮総会が行われ、食堂に寮生全員が集まり寮生活について意見を出し合いました。今以上により良い寮生活が送れるよう、一人ひとりが寮の一員として考え、改善に向けて取り組んでいます。送別会では、1年間お世話になった先輩方に感謝の気持ちを込めて、1年生全員で色紙を制作しプレゼントとともに贈りました。一人ひとりの先輩を想いながらメッセージを書き、先輩方の喜ぶ姿を見ることができ、とても温かく思い出に残る時間となりました。(青木 理暖)



これまで長らくご愛読いただきました『長野県福祉大学校便り』ですが、今号をもちまして刊行を終了させていただきますこととなりました。今後、学校活動については、ホームページ、インスタグラム等にて引き続き発信していきますので、変わらぬご厚誼を賜りますよう、お願い申し上げます。



ホームページ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/fukushidai/index.html>



インスタグラム

<https://www.instagram.com/naganofukushidai/>

